

第 56 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 ランチョンセミナーのご案内

インプラント周囲疾患の治療について NiTi Brushの臨床応用

2026年9月19日（土）
12：30～13：20

セミナー番号：LS-7 ランチョンセミナー7

会場名：第8会場

施設会場名称：ホール D1（Dブロック 1階）

インプラント周囲炎の治療は、良好な治療成績を患者に約束することは難しく、明確な治療方法が確立されていないとの報告もある。一方、インプラント周囲炎の治療は歯周治療に準じて適切に行うことで、良好な治療成績を示している報告もある。

歯周治療では患者自身によるインフェクションコントロールを確立しなければ、その後に続く非外科治療・外科治療の良好な治療効果を得ることは困難である。

また汚染されたインプラント表面のデコンタミネーションを行う方法は、ソーキング、カーボン及びチタンスキューレット、回転ブラシ、エアパウダーアブレーション、エルビウムヤグレーザー等が適用されるがそのどれも優位性は証明されていない。臨床的には施術者の好みによってこれらの組み合わせを使用することが現実的であると思われる。今回、演者が長年関わってきたNiTi Brushに関して、インプラント周囲炎治療の具体的な臨床例を提示したい。



中島 康 先生

大阪歯科大学

口腔インプラント学講座

臨床教授

